

第17回 書道パフォーマンス甲子園

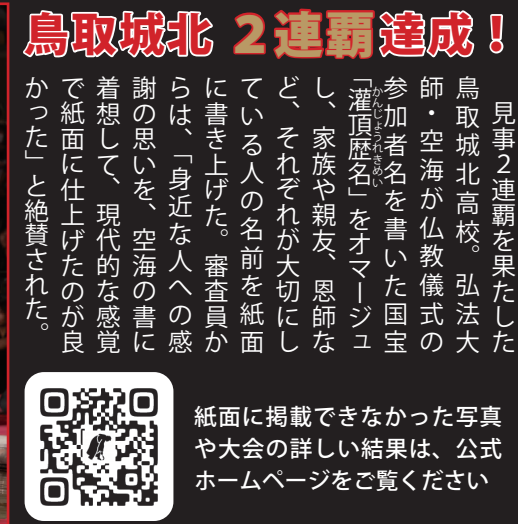


7月28日、伊予三島運動公園体育館で「第17回書道パフォーマンス甲子園」の本戦が開催された。32都府県から109校がエントリーした今大会。予選を突破した21校と能登半島地震の復興応援校2校の計23校が、「聖地」四国中央市で激闘を繰り広げた。6分間というわずかな時間に、書道に懸けた青春の全てをぶつける高校生たち。その姿を見届けようと、全国から過去最多となる5200人が会場に駆け付けた。観客たちは、復興応援校2校の演技を拍手で応援するなど、高校生たちと一緒に大会を盛り上げた。

そして、市発足20周年の節目の年に開催された今大会には、EXILEのボーカルで書の個展を開催するほどの腕前を持つTAKAHIROさんが特別審査員で参加。大会終了後には自身のインスタグラムで、高校生たちにアツイメッセージを送った。

「高校生の祭典」と呼ばれる本大会には、今年も市内3高校の生徒を始めとする130人ものボランティアがスタッフとして参加。大会の成功を支えてくれた。

大会の結果と、高校生たちの青春の一幕を次のページで紹介する。



みなさんの「青春」を肌で感じることができ、とても刺激的な時間になりました。書道を通じて一生の思い出を作ることができる、このステキな大会が長く続くことを願います。僕も微力ではありますが、みなさんが青春と魂を込めて作った作品や大会がもっと広がるよう、お手伝いできればと思います。



EXILE
TAKAHIRO さん



TAKAHIRO さんと
ボランティアスタッフたち

問い合わせ先
書道パフォーマンス甲子園振興室 0896-28-6037